

## 平成 26 年度 第 2 回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会 会議録

### 1. 日 時

平成 27 年 3 月 24 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 05 分まで

### 2. 場 所

二宮町町民センター 2 階 2A クラブ室

### 3. 出 席 者

○二宮町男女共同参画プラン推進連絡会委員

山内会長

杉崎委員 関口委員 磯部委員 小澤委員 井上委員

○二宮町政策部企画政策課

事務局：秋澤部長 志賀課長 西岡副主幹 木村主査

○傍聴者：なし

### 4. 議 題

- (1) 男女共同参画推進に伴う平成 26 年度「広報にのみや」掲載記事について
- (2) 第 2 次にのみや男女共同参画プランに掲げる事業の状況について
- (3) 平成 27 年度の取組み予定について
- (4) その他

#### 【説明】

- ・「男女共同参画」について、平成 26 年度から町民に対して、広報啓発に力を入れていこうと言う事で、計 4 回町広報紙へ記事を掲載した。
- ・町広報本紙 4 月号では、「男女共同参画」の啓発、6 月号では、「男女共同参画週間」、11 月号では、「女性に対する暴力をなくす運動」、12 月号では、2 回目の「男女共同参画」の啓発記事を掲載した。
- ・引き続き、広報啓発は実施していく。
- ・「第 2 次にのみや男女共同参画プラン」(以下:プラン)の中にも、男性の育児や介護の参画の施策が盛り込まれている。
- ・現代社会において、人口減少が急速に加速している。高齢化していく社会に対して、若者の就労・結婚・子育てしやすい環境をつくる事が必要だが、雇用状態・安定的な収入を得られる環境など、課題が多い。
- ・人口減少・高齢化社会に伴い、男性だけでなく、女性の労働力も必要となっているが、仕事と家事・育児等の両立は、周囲の人々のサポートが

必要となり、男性の長時間労働といった働き方などを変えていく必要がある。

- ・プラン「＜施策6＞家庭生活における男女共同参画」における事業内容の進捗を報告する。
- ・平成27年度の取組み予定と内容について、説明する。

### 【主な意見】※ 委員意見○ 事務局意見☞

- 記事の見出しは、読者の気持ちを引きつける。「男女共同参画」という言葉は固いイメージなので、タイトルは、やわらかい言葉を持って来て、そのタイトルに添えるように「男女共同参画」と入れた方が、理解しやすいと思う。
- 「図書館の展示コーナー」設置が、男女共同参画週間と併せて実施されているが、1年に1度だと印象に残らない。「図書館の展示コーナー」を年に数回設置できれば、その都度、広報紙にも掲載でき、印象に残る。
- 「男女共同参画」については、意識づけが大切であるが、若い世代は参画できているように感じる。引き続き、啓発していく事が大切である。
- 「父子手帳」の交付については、認知度が低いと思う。交付していることをアピールした方が良い。
- 子育て面・介護面共にバランスの良い支援が必要となっている。
- 女性の場合は、出産・育児などを切り離して考える事はできないので、家庭と仕事の両立を難しいとは言えない。
- 若い世代は、学校教育の中で、男性女性共に家庭科が必修科目なので、家事などをすることに抵抗がないように思う。
- 町で開催される講座など、良いものもあるのに周知されないのは、もったいない。広報する方法の工夫が必要だと思う。
- 「プラン実施計画への意見や提案」で、成果を得られていない事業というのは、どういう事業か。
- ☞プランの進捗状況を、新年度当初に各課が報告をあげ、その結果を推進会議で報告するので、そこで御意見を伺う。
- 町や県・近隣自治体が主催する男女共同参画事業について、前もって開催日などわからないか。
- ☞このぐらいの時期に、というのはお知らせできるが、主催者側からの連絡が開催日近くでくるため、詳しい日程等はその都度お知らせする形となる。